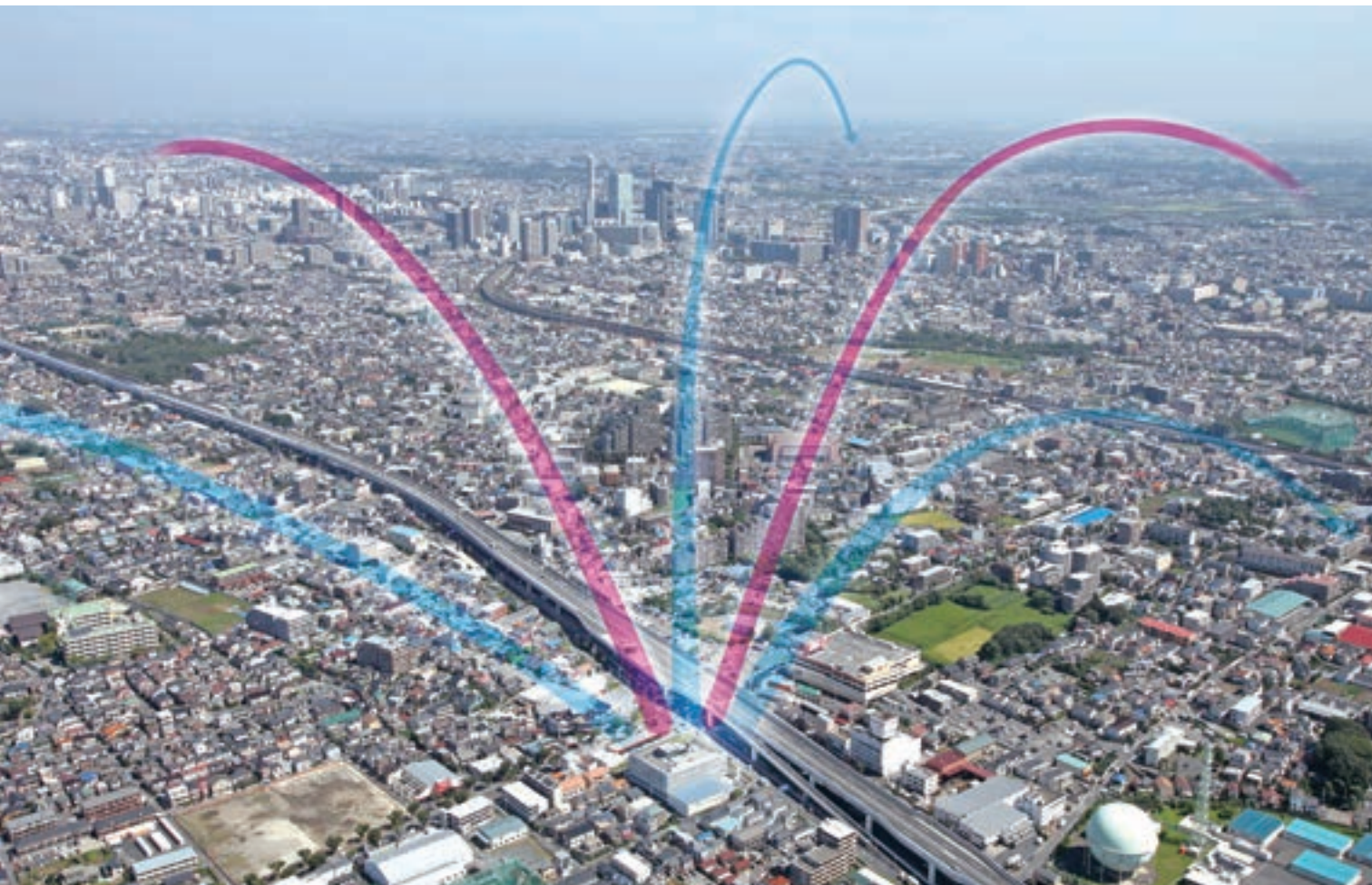


ORIGIN REPORT

株主の皆様へ 第121期 中間報告書

2021.4.1 ▶ 2021.9.30



株式会社 オリジン

証券コード：6513



代表取締役社長
妹尾 一宏

独自技術とシナジー発揮で 常に新市場を創出できる 企業を目指します

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第121期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）のご報告をお届けするにあたり、概況を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、変異株により感染が急拡大するなど、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続きました。ワクチン接種の促進が図られ、景気の持ち直しが期待されているものの、長引く半導体不足や中国経済の減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は151億1千8百万円（前年同四半期比31.4%増）となりました。

利益面におきましては、営業利益6億6千8百万円（前年同四半期は営業損失10億5千2百万円）、経常利益8億8千3百万円（前年同四半期は経常損失9億1千1百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失14億9千3百万円）となりました。

私たちは、全て基本（Origin）から経営や研究を考えていくという創業時からの精神を引き継ぎ、混合体から複合体、更には融合体として、新たな価値を創造し、社会に貢献する会社を目指します。

なお、中間配金につきましては、11月9日開催の取締役会におきまして、1株20円とさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

経営理念

人類社会に役立つ 存在感あふれる企業を目指し

世界中から情報が集まり人が集まる

「開かれた企業」となろう

オンリーワン技術を磨く

「独自性ある企業」となろう

チャンスを与え失敗を乗り越え、任せることの出来る

「自己実現の場である企業」となろう

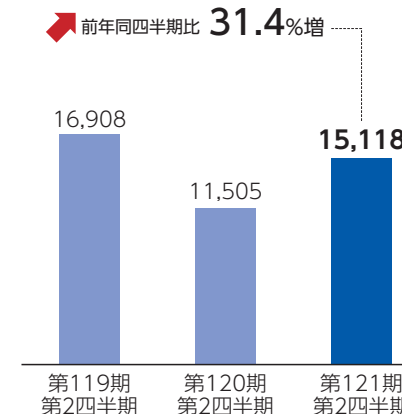
新たな価値を創造し、 社会に貢献する企業となろう

売上高

151億18百万円

前年同四半期比 36億13百万円増

(単位:百万円)

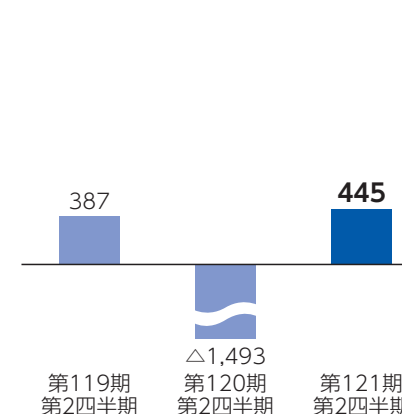


親会社株主に帰属する四半期純利益

4億45百万円

前年同四半期比 19億38百万円増

(単位:百万円)

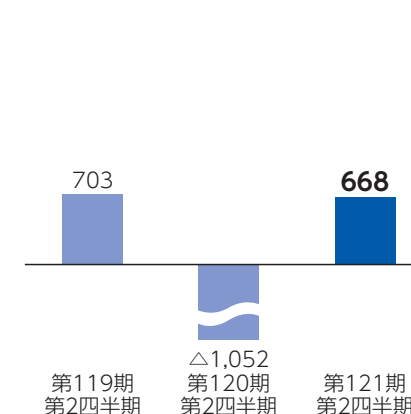


営業利益

6億68百万円

前年同四半期比 17億20百万円増

(単位:百万円)



総資産／純資産

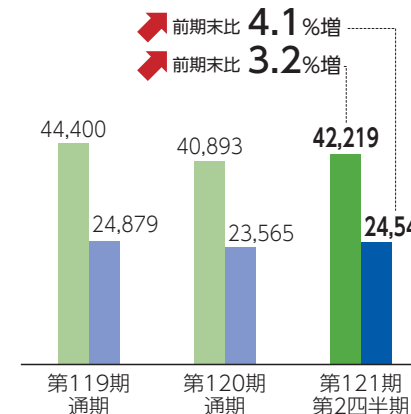
総資産
422億19百万円

総資産前期末比
13億25百万円増

純資産
245億42百万円

純資産前期末比
9億76百万円増

(単位:百万円)

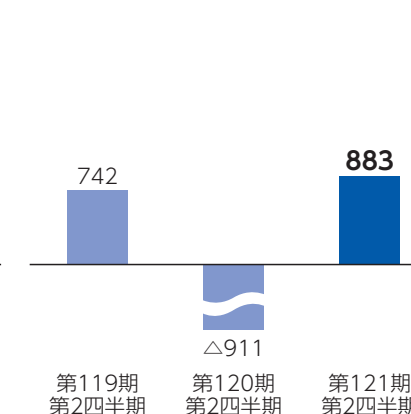


経常利益

8億83百万円

前年同四半期比 17億95百万円増

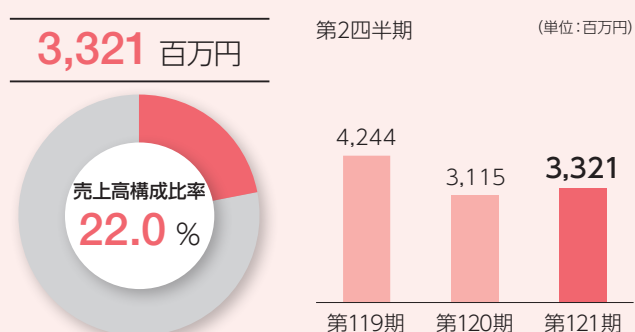
(単位:百万円)



第121期 通期業績予想

売上高	31,500百万円	前期比 21.5%増
営業利益	800百万円	
経常利益	1,100百万円	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	600百万円	
1株当たり 当期純利益	96円74銭	

エレクトロニクス事業



エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比6.6%増の33億2千1百万円（総売上高の22.0%）となりました。
携帯端末向け無線基地局用電源は、前年同四半期と同様に軟調でありましたが、注力製品である医療用の電源が堅調に推移し、全体として微増となりました。

主要製品

電源機器: 各種直流電源機器、液晶製造装置用高電圧電源機器
直流高電圧電源機器

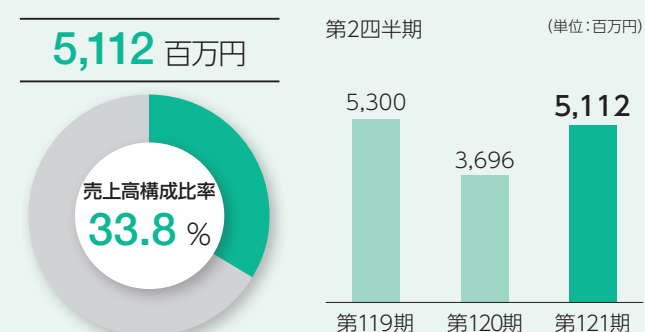


スパッタ電源



双方向DDコンバータ

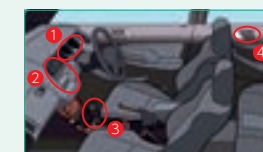
ケミトロニクス事業



ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比38.3%増の51億1千2百万円（総売上高の33.8%）となりました。
第1四半期同様、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年同四半期を上回りましたが、国内市場においては主力の自動車分野にて半導体の調達難に伴う自動車メーカーの減産が大きく響き、厳しい売上となりました。

主要製品

合成樹脂塗料: プラスチック用塗料、プラスチック用水系塗料、非鉄金属用塗料、UV硬化塗料、機能性塗料、真空蒸着用塗料



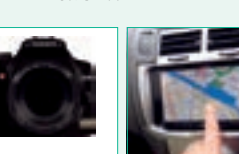
① 採用部品: メータークラスター
採用塗料: エコネットVZ-2



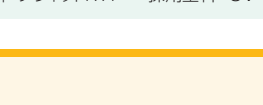
② 採用部品: センタークラスター
採用塗料: エコネットNS-3+
エコネットNS-2



③ 採用部品: シフトパネル
採用塗料: エコネットET SS



④ 採用部品: スイッチベース
採用塗料: エコネットNS-2



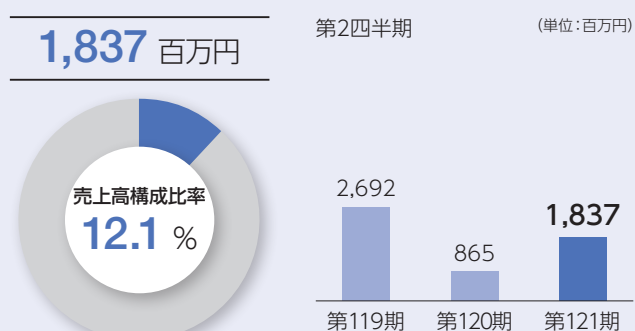
デジタルカメラ

採用塗料: プラネットPX-1

ナビパネル

採用塗料: UV TP

メカトロニクス事業



メカトロニクス事業の売上高は前年同四半期比112.2%増の18億3千7百万円（総売上高の12.1%）となりました。
前期受注案件の光学レンズ貼合装置(OLB:Optical Lens Bonder)と自動車部品向け大型溶接機(RMW)が売上に至りました。中でも前期よりウエアラブル市場へ投入しました光学レンズ貼合装置(OLB)が大きく寄与し、大幅な売上増となりました。

主要製品

システム機器: モバイルディスプレイ貼合装置 (MDB)、車載・産業用ディスプレイ貼合装置 (DB)、大型溶接機 (RMW)、光半導体用キャップシーラー (CSW)、真空ソルダーリングシステム (VSM)、および各種システム機器、光学レンズ貼合装置 (OLB)



自動車駆動系部品向け大型溶接機

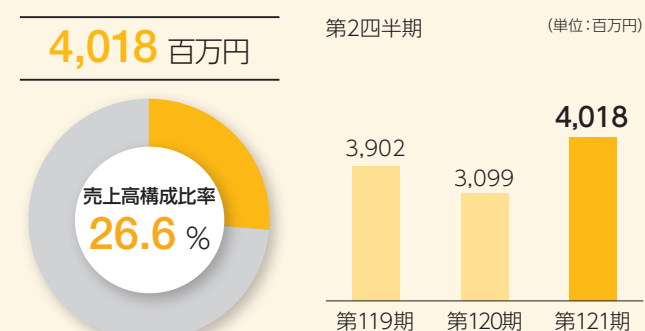


真空ソルダーリングシステム



車載・産業用ディスプレイ貼合装置

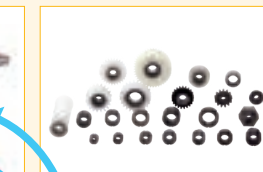
コンポーネント事業



コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比29.6%増の40億1千8百万円（総売上高の26.6%）となりました。
事務機器を始め、全ての産業機器関係が伸長し、大幅な売上増となりました。

主要製品

精密機構部品: ミニチュアベアリング、ワンウェイクラッチ、トルクリミッタ、小型メカニカル製品およびその複合品



ワンウェイクラッチ



トルクリミッタ

磁性流体シールベアリング

※イメージ図

その他（半導体デバイス事業）



動画でオリジンの製品を見てみよう
ビデオライブラリー 株式会社オリジン

ビデオライブラリー <https://www.origin.co.jp/videolibrary/>

オリジンYouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCC4oQQpUtcVk-WS9POiAokw>



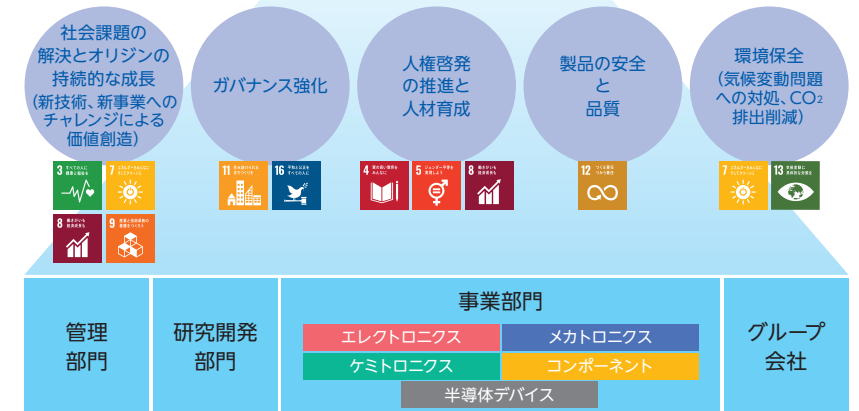
「企業の社会的責任」から「持続的な成長と中長期的な企業価値向上」に力点を置くことを主眼に、新たに「サステナビリティ方針」を定めるとともに、代表取締役社長をトップとし、事業部門の責任者である執行役員等で構成する「サステナビリティ委員会」を設置しました。

また、カーボンニュートラルへの貢献に向け、2030年に自社分のCO₂排出量を50%削減（2015年基準）する中期削減目標もあわせて宣言いたしました。

事業を通して 新しい価値を創造し
持続可能な社会の実現に貢献

サステナビリティ方針

マテリアリティ



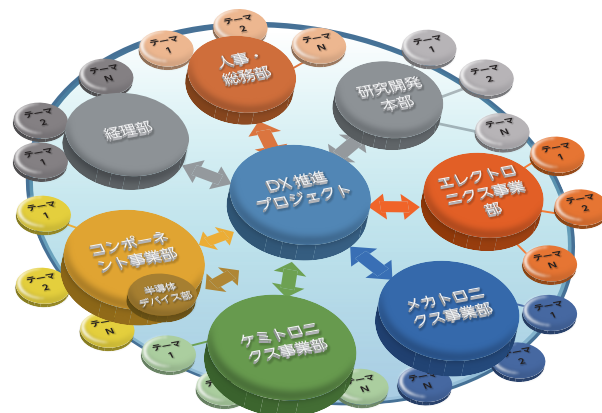
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サステナビリティ方針

株式会社オリジンは、経営理念、および、オリジングループ行動憲章を基本的な考え方として、製品・サービスの提供を通じて社会的課題を解決することで、持続的な社会づくりに貢献し、企業価値の向上に努めます。

- 気候変動などの地球環境問題への配慮
省エネルギー、クリーンエネルギー、化学物質排出削減などの環境に配慮した製品の技術開発や生物多様性の取り組みなど環境に配慮した活動に全社を挙げて取り組みます。
- 人権の尊重、従業員の健康・働く環境への配慮や公正・適切な処遇
ステークホルダーの皆さまとともに、人権と働き方に関する基本的権利に配慮し、明るく生き生きと働ける、安全な職場環境の実現に取り組みます。
- お取引先との公正・適正な取引
国内外の法令やルールを遵守し、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行うとともに、企業情報を積極的かつ公正に開示し、お取引先とも連携してサプライチェーン全体で公正な事業活動に取り組みます。

オリジンのデジタルトランスフォーメーション（DX）

DX推進プロジェクトのイメージ
(2020年9月より活動開始)

当社では、2020年9月に各組織代表からなるDX推進プロジェクトを発足させ、あるべき姿を目指して各業務プロセスを根本から見直し、DXの取り組みを強化しています。

事業部門の生産プロセスの自動化、品質向上をはじめとして、管理部門を含めた全社での課題の洗い出しを進めています。

事業部門・管理部門は、抽出した課題解決に向け生産性の向上、業務革新のテーマを選定するとともに、デジタルデータを活用した新規事業の創出にも取り組むことで、顧客価値向上、並びに持続的な企業価値向上につなげていきます。

世界中へ広がり続ける
ネットワーク

■ 事業所
● 子会社

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)		
科目／期別	前期 2021年3月31日現在	当第2四半期 2021年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	23,943	25,614
固定資産	16,949	16,605
有形固定資産	10,382	10,168
無形固定資産	510	472
投資その他の資産	6,056	5,963
資産合計	40,893	42,219
(負債の部)		
流動負債	8,223	8,963
固定負債	9,104	8,713
負債合計	17,328	17,677
(純資産の部)		
株主資本	19,082	19,451
その他の包括利益累計額	2,097	2,809
非支配株主持分	2,384	2,280
純資産合計	23,565	24,542
負債純資産合計	40,893	42,219

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)		
科目／期別	前第2四半期累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
売上高	11,505	15,118
売上原価	9,296	11,274
売上総利益	2,208	3,843
販売費及び一般管理費	3,260	3,175
営業利益又は営業損失 (△)	△1,052	668
営業外収益	260	327
営業外費用	119	112
経常利益又は経常損失 (△)	△911	883
特別利益	34	1
特別損失	318	41
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,196	843
法人税等	271	250
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,467	593
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	148
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△1,493	445

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科目／期別	前第2四半期累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△300	1,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40	50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,009	△795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△121	162
現金及び現金同等物の増減額	△1,472	797
現金及び現金同等物の期首残高	6,711	5,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,239	5,818

株式の状況

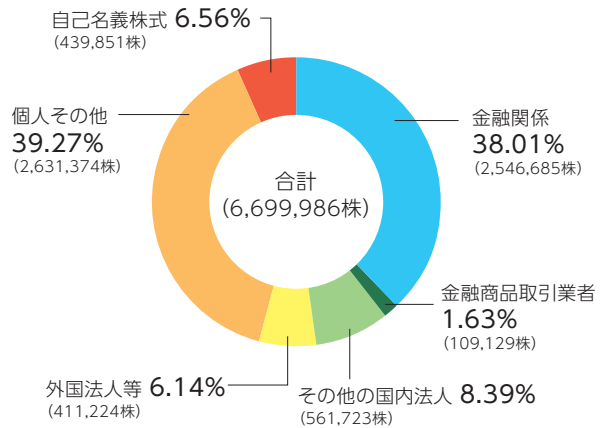
発行可能株式総数	26,600,000株
発行済株式の総数	6,699,986株
株主数	4,438名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	635	10.15
オリジン取引先持株会	404	6.45
損害保険ジャパン株式会社	376	6.01
株式会社みずほ銀行	308	4.92
明治安田生命保険相互会社	302	4.83
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	162	2.60
株式会社りそな銀行	156	2.49
トーア再保険株式会社	121	1.94
みずほ信託銀行株式会社	104	1.67
オリジン従業員持株会	104	1.66

(注) 1. 当社は自己株式439,851株を保有していますが、上記大株主から除いています。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別分布状況 (株式数別)



会社概要

会社設立年月日	1938年 (昭和13年) 5月1日
代表者	代表取締役社長 妹尾 一宏
資本金	6,103,252,996円
従業員数	651名
主要な事業所	
本社事業所	〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和3丁目3番27号 ☎ 048 (755) 9011 (代表)
間々田工場	〒329-0211 栃木県小山市暁3丁目10番5号 ☎ 0285 (45) 1111
瑞穂工場	〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2丁目3番地11 ☎ 042 (557) 4111

取締役および執行役員

代表取締役社長	妹 尾 一 宏	上席執行役員	石 田 武 夫
取締役常務執行役員	琴 寄 正 彦	上席執行役員	駒 形 秀 樹
取締役上席執行役員	稲 葉 英 樹	上席執行役員	内 藤 佳 彦
取締役上席執行役員	佐 藤 好 生	執行役員	宮 内 公 平
取締役 (社外)	小 池 達 子	執行役員	福 田 健 夫
取締役常勤監査等委員	樋 口 淳 一	執行役員	岡 部 敬 三
取締役監査等委員 (社外)	大 日 方 勝 彦	執行役員	加 藤 義 則
取締役監査等委員 (社外)	塙 昌 樹	執行役員	赤 松 敦
取締役監査等委員 (社外)	入 江 護	執行役員	宮 田 寛 司
常務執行役員	副 島 賢 治	執行役員	町 田 達 巳
常務執行役員	杉 山 泰 之	執行役員	大 河 原 正 之
		執行役員	篠 原 清

株主メモ

Stock Holder's Memo

証券コード	6513	配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。		
公告方法	電子公告にて行います。 公告掲載URL https://www.origin.co.jp/financial/koukoku ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		

株式に関する手続きのご案内

Stock Information

■ 単元（100株）未満株式 買取・買増制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

例：60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

当社に市場価格で
売却

60株

—

60株

=



現金化

買増請求

100株（単元株式）に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

例：60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

40株を、
当社から市場価格で
購入

60株

+

40株

=

40株

60株

単元株式
(100株)

■ 特別口座から証券口座への振替手続きのご案内

特別口座に記録されている株式は、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社に取引口座を開設していただいたうえで、特別口座から証券取引口座に振替を行っていただく必要があります。

ご所有株式に関するお手続きについてのお問合せ先

「証券会社等の口座」で管理されている当社株式に関する
配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等



お取引口座を開設されている
証券会社

「特別口座」で管理されている当社株式に関する
配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等



未受領の配当金に関するお手続き

みずほ信託銀行証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

 0120-288-324（土・日・祝日を除く9：00～17：00）

